

各作物の生育状況等について

農業振興課

1 水稲の生育状況等（7月1日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生や用水の状況等
県北	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年より長く、茎数は平年より多い。葉齢はやや進み、葉色はやや淡い傾向（作柄判定は6/19調査(5/3田植え)）。 ・葉いもちは未発生。 ・用水等について、不足情報は把握していない。
伊達	<ul style="list-style-type: none"> ・田植え後の生育は表層はく離等の影響でやや劣ったが、6月以降は葉色等が回復した。 ・病虫害の発生はやや早く、用水不足等の問題は確認されていない。
安達	<ul style="list-style-type: none"> ・水稲の生育は概ね順調で、茎数は平年より多い。 ・一部地域では用水量が減少している。
県中	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は平年並で順調に経過している。問題となる病虫害の被害は確認されていない。
田村	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に生育は順調であり、草丈はやや長く、茎数は多い傾向。 ・沢水等を利用している山間地では用水不足となっている水田がある。
須賀川	<ul style="list-style-type: none"> ・草丈は平年よりやや長く、茎数は一部地域で平年より多い。 ・葉数は平年よりやや進んでいる。目立った病虫害の発生は確認されていないが、藻の発生が多いほ場が例年より多い。
県南	<ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬の生育調査では、草丈は平年並、茎数は平年並～やや少なく、葉齢は平年並。 ・現時点での用水不足等による影響はみられないが、沢水を用水としている地区では水量が少なくなってきたとの情報あり。
会津	<ul style="list-style-type: none"> ・高温登熟回避のため、田植えの盛期及び終期が平年よりやや遅くなった。生育は概ね順調で、コシヒカリの草丈がやや伸長傾向にある。 ・表層はく離や藻の発生が目立っている。用水は確保されている。
喜多方	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は良好で、草丈と葉色は平年並で、茎数は平年並から多い。一部で、活着の遅れや土壌還元により分けつが遅れている。表層剥離や藻の発生、ヒエやホタルイ、アゼナなど平年より多い。
会津坂下	<ul style="list-style-type: none"> ・5月中旬以降、日中の気温が高く、表層剥離が発生したことにより、生育が遅れている水田も散見された。また、平年よりも雑草（アオミドロ、ヒエ）の発生が早く、除草剤の散布が遅れて繁茂している水田が見られた。 ・6月中旬頃から、生育が概ね平年並に回復したところも多いが、著しく初期生育を阻害された水田では、茎数が確保できていない状況。
南会津	<ul style="list-style-type: none"> ・移植後の活着は良好で、地域間差はあるものの生育は平年並みからやや進んでいる。ヒエやホタルイ等の残草が目立つほ場が散見される。用水は例年より少ない地域もあるが、確保されている。

相双	<ul style="list-style-type: none"> ・作柄判定ほ場の生育は平年より進んでいる。 ・ため池を水源としている一部の地区等で用水不足となっているほ場がある。
双葉	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね生育は順調。目立った病害虫の発生は無し。一部の山間地域では、用水（沢水）が不足している水田があった。
いわき	<ul style="list-style-type: none"> ・葉齢の伸展が数日早まっている。 ・天のつぶの生育が進み、出穂が例年より早まる見込み。 ・現時点で、用水が足りずに栽培管理や作業に影響が出ているほ場は見られない

2 大豆の生育状況等（7月1日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病害虫発生や用水の状況等
県北	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆：出芽は順調であり、1回目の中耕培土作業実施中。
伊達	<ul style="list-style-type: none"> ・6月中旬に大豆の発芽を確認した。揃いは良いがアサガオ類等の雑草の発生が多く見られた。第3葉展開中。(6/28) ・小雨のため湿害等の生育不良は確認されていない。 ・病害虫の発生も現在のところ確認されていない。
安達	<ul style="list-style-type: none"> ・大豆の播種は、6月中旬から開始され、概ね播種終了。
県中	<ul style="list-style-type: none"> ・6月25日頃までに播種されたほ場では出芽は良好。
田村	<ul style="list-style-type: none"> ・6/11から播種が開始された ・晴天が多かったため降雨による播種の遅れは少ない ・6/11に播種したほ場では出芽は良好であった。 ・出芽初期から、アレチウリの発生が散見される。
須賀川	大豆の播種作業は概ね平年並みに行われた。出芽は良好である。
県南	<ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬から播種開始。少雨傾向の為湿害等なく出芽は順調。
会津	<ul style="list-style-type: none"> ・播種は6月中旬で終了しており、出芽は早まっている。 ・いずれも病害虫の目立った発生はない。
喜多方	<ul style="list-style-type: none"> ・6月上・中旬播種では、少雨による土壌の過乾燥から、出芽遅れや出芽不揃いとなった。6月下旬播種の出芽は良好である。
会津坂下	<ul style="list-style-type: none"> ・6月上旬に播種作業を行い、出芽もよい。現在本葉2~3葉展開中。
南会津	<ul style="list-style-type: none"> ・播種は6月上旬に行われ、出芽は良好である。
相双	<ul style="list-style-type: none"> ・6月から順次、大豆の播種が実施されたが、出芽揃いが悪いほ場が散見される。 ・ツメクサガ、オオタバコガによる葉の食害が一部ほ場で発生している
双葉	<ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬から播種を開始。
いわき	<ul style="list-style-type: none"> ・特に影響なし

3 野菜の生育状況等（7月1日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生や用水の状況等
県北	<p>【きゅうり】露地栽培では、強風・乾燥により短節間で草丈が低い。出荷開始は平年より5日程度遅い7/上の見込み。黒星病、アザミウマ類、アブラムシ類、ウリハムシ発生。抑制栽培は7/下定植見込み。</p> <p>【ミニトマト】4/中旬定植では、昨年より3～5日早い6/下旬収穫開始。5/下旬定植では、生育は昨年よりやや早い。アザミウマ類発生。</p> <p>【いちご】一部ほ場で、ランナー発生数が平年より少ない。一部ほ場で、ダニ類、アブラムシ類、うどんこ病発生。</p>
伊達	<p>【きゅうり】乾燥の影響による短節間や、ネコブセンチュウ類による萎れが発生しているほ場がみられる。</p> <p>【いちご】気温が上昇した6月2半旬以降、土壌病害の発生が散見される。</p>
安達	<p>【露地きゅうり】5月下旬の強風の影響があったが、現在は回復し、概ね生育良好で、収穫も始まっている。7月に定植した苗については梅雨明け後の高温による芯焼けが心配される。</p> <p>【ミニトマト】概ね生育良好で、収穫が始まっているが、徐々に花落ちが目立ってきた。病虫害は、露地栽培中心に害虫の発生が多く、ハダニ類やアザミウマ類、ちょう目類、カメムシ類等が散見された。</p>
県中	<p>【夏秋果菜類（きゅうり、トマト）】 生育はやや進んでいる。ハダニ類の発生が例年より早い傾向である。トマトでは、一部地域でトマト黄化葉巻病が発生している。</p> <p>【アスパラガス】施設栽培が夏芽収穫中、露地栽培は立茎後半で一部夏芽の収穫が始まっている。施設は概ね順調な生育だが、露地は一部で細目の茎で立茎となった。病虫害はアザミウマ類、アブラムシ類が少発生している。</p>
田村	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に生育は順調である。 ・露地栽培において5月の風の影響で茎葉の傷つきが確認された。 ・アブラムシ、アザミウマ、コナジラミの発生が散見されている。
須賀川	<p>【夏秋きゅうり】6月中旬の高温により芯やけが発生したほ場も見られた。収穫は早いほ場で6月中旬から順次始まっている。病虫害は、朝晩の冷え込みにより黒星病、斑点細菌病等が発生しているほ場が見られる。アブラムシ類及びアザミウマ類、ウリハムシ、カメムシ類、ウリノメイガが平年より多く発生している。</p> <p>【夏秋トマト】生育は概ね順調であるが、着果負担により芯の弱りがみられる。また、高温により、成長点付近の萎れが散見される。病虫害は、アザミウマ類、葉かび病が例年並に発生している。一部のほ場でトマトサビダニの発生がみられる。</p> <p>【さやいんげん】生育は高温によりやや進んでおり概ね順調に生育している。収穫は例年並の6月中旬から開始されている。なお、一部、高温による花落ちが見られている。病虫害は、アブラムシ類、アザミウマ類、メイガ類が例年並に発生している。</p>

県南	<p>【トマト】 生育は概ね順調に進んでおり、葉焼け、花落ち等は少ない。灌水量が少ないほ場で、生理障害（尻腐果、ガク枯れ）が発生している。病虫害の発生が平年より早く、高温環境下で発生しやすい土壌病害（青枯病）や、タバココナジラミが媒介する黄化葉巻病が6月から見られている。</p> <p>【キュウリ】 露地栽培では、6月20日頃より出荷が始まっている。害虫の発生が平年より早く、病害はべと病が出始めである。</p> <p>【サヤインゲン】 生育は良好で、平坦部では収穫最盛期となっている。高冷地（標高500m地帯）は7月中旬から収穫見込み。</p> <p>【イチゴ】 子苗の採苗中であるが、ランナーの本数が平年より多い。</p>
会津	<p>【アスパラガス】 概ね平年並の生育状況であり、ハウスは夏どり収穫中、露地は立茎中である。アザミウマ類の発生は平年並。</p> <p>【ほうれんそう】 高温で経過したため1作目の生育は順調に推移した。一部で収穫が遅れL品が多くなった。</p>
喜多方	<p>【アスパラガス】 施設栽培では夏芽の萌芽が開始。アザミウマ類、オオタバコガ類の発生が目立つ。</p> <p>【きゅうり】 ハウス、露地栽培とも乾燥条件下（高温少雨）のため、草勢が低下している。ハダニやアブラムシ、アザミウマ等の害虫の発生が例年より早い。</p> <p>【トマト】 適切なかん水管理により、生育は旺盛である。</p> <p>【ミニトマト】 12段目が開花、一部ハウスで生長点付近の焼けが発生。</p>
会津坂下	<ul style="list-style-type: none"> ・病害の発生は少なく、適度に降雨があり、概ね順調に生育している。 ・4月から5月にかけては温暖に経過したため、アブラムシ類、アザミウマ類の発生時期は例年より早まった。6月上旬の高温により、キュウリで芯焼けが発生した。
南会津	<p>【トマト】 苗配布が早いほ場で5段目が開花しており、1段目の着果がやや少ない。出荷開始は7月7日頃の見込み。一部ほ場で、葉かび病、かいよう病、アブラムシ類が見られる。用水は確保できている。</p> <p>【アスパラガス】 夏芽の出荷中。施設栽培で斑点病、露地栽培で茎枯病が一部ほ場で見られ、施設栽培でオオタバコガ等が多発している。用水は確保できている。</p>
相双	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は全体的に7日程度程度前進している。 ・アザミウマ類やアブラムシ類などの害虫の発生が多い。 ・露地品目はタマネギ、ブロッコリー収穫終了、ネギは茎数はあるが草丈等はやや小。
双葉	<p>【たまねぎ】 生育が前進化し、昨年よりも1週間ほど早く収穫開始。春先の降水不足で小玉傾向。</p> <p>【かんしょ】 生育は例年通り。一方で鱗翅目幼虫やアブラムシの発生が昨年よりも1週間ほど早い。</p>
いわき	<p>【いちご】 一部ほ場でランナー焼けが小発生。</p> <p>【ねぎ】 【トマト】 いまのところ生育に影響ない。</p>

4 果樹の生育状況等（7月1日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生や用水の状況等
県北	<p>【もも】早生品種「日川白鳳」の収穫終盤。核障害果の発生は平年並。</p> <p>【なし】果実肥大良好、仕上げ摘果中。黒星病の葉柄等感染あり。</p> <p>【りんご】平年より7日程度生育が早い。結実は良好だが、青実果、変形果、小玉果が多い。仕上げ摘果作業中。</p> <p>【ぶどう】幼果期、生育順調。摘粒作業及び袋かけ作業中。</p>
伊達	<ul style="list-style-type: none"> ・6月15日における満開後日数で比較は、「あかつき」は平年よりも大きく、「川中島白桃」は概ね平年並みである。「ふじ」は、平年よりやや大きい。 ・主要な病虫害の発生は少ない。 ・かん水設備のある園では、かん水を定期的実施している。
安達	<p>【ナシ、リンゴ】ともに生育日数で見ると果実肥大はほぼ平年並。害虫の発生は早い傾向、ナシ黒星病、リンゴ褐斑病の発生あり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温・乾燥条件が要因とみられる樹勢が弱い樹体の枯死やブドウ苗木、若木等の生育不良が一部みられた。
県中	<p>【日本なし】開花盛りは「幸水」、「豊水」とともに平年より10日早く、7/1現在の果実肥大は、暦日比較では平年よりも大きい。</p> <p>病虫害は、黒星病やカメムシ類が散見されている。</p>
田村	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に生育は順調である。 ・降雨日が少なかったことから、主要な病害の発生は少ない。 ・越冬世代のカメムシ類による吸汁被害が多い。生産者は定期散布に上乗せして、特別散布で対応中。
須賀川	<ul style="list-style-type: none"> ・満開日は平年と比べて、りんごは6日、なしは7日、ももは5日早い。7月1日現在の果実肥大は、満開後日数対比で、りんごは平年並、なしは平年よりやや大きく、ももは平年より大きい。 ・ナシ黒星病及びモモせん孔細菌病が少発生だが、全樹種でカメムシ類による被害果が見られ始めている。
県南	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は満開日など平年より早く、果実肥大は平年比で大きい、暦日比では平年並である。 ・病虫害は、果樹カメムシ類の越冬量が多く、今後の被害が懸念される。
会津	<p>【りんご】「ふじ」の満開は平年より9日早まった。土壌水分は少ない傾向にあるが問題はなく、結実・肥大は良好である。</p> <p>【会津身不知柿】満開は平年より12日早まった。クサギカメムシの初発が早まったものの、現段階では影響はない見込み。</p>
喜多方	<p>【りんご】「ふじ」「つがる」の果実肥大は暦日比で平年よりやや大きい。早生品種「つがる」で日焼け果が発生している。リンゴハダニは発生初期段階にある。かん水が可能な園地では、適切なかん水が行われている。</p>
会津坂下	<ul style="list-style-type: none"> ・4月以降気温が高く経過したことから全体的に生育が早まっている。降雨が少なかったことから病害の発生は抑えられている。 害虫についても目立った被害は見られていない。

南会津	【りんご】果実肥大は暦日比較で平年より大きく、満開後日数比較で平年並。一部の園地で腐らん病が発生しているが発生程度は例年並
相双	【日本ナシ】生育が1週間から10日程度前進している。果実肥大は平年並みからやや大きい。黒星病の発生は少ないが、カメムシ類の被害果やハダニ類の発生が確認されている。
双葉	【ブドウ】生育は広野では昨年並、川内村では昨年よりやや遅い。病害の発生はあまり見られていない。一部ほ場でカイガラムシが散見される。
いわき	【なし】果実の肥大も良く、天候の影響はない。カメムシ類の被害は、今のところない。 【いちじく】天候の影響はない。

5 花きの生育状況等（7月1日現在）

農林事務所 普及部・所	生育、病虫害発生や用水の状況等
県北	【コギク】6月の降雨が少なく、8月咲き、9月咲き品種とも茎の伸長がやや鈍い。一部ほ場で、アザミウマ類、アブラムシ類発生。
伊達	【コギク】7/1時点の作柄調査結果として、8月咲草丈58.7cm（前年比93%）。オオタバコガ類の発生が前進傾向にある。
安達	【コギク】8月咲き品種は、6月下旬頃から出蕾。9月咲き品種は順次土寄せ、支柱、ネット張りを実施している。一部のほ場で白さび病、アブラムシ類、アザミウマ類、タバコガ類が散見される。 【リンドウ】早生品種は6月下旬頃から出蕾。一部のほ場で葉枯病、アブラムシ類、アザミウマ類、ハダニ類が散見される。
県中	【トルコギキョウ】旧盆出荷作型では品種により発蕾が見られる。開花は想定している物日出荷より前進すると思われる。チップバーン（葉先枯れ）が例年より多い傾向が見られる。
田村	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に生育は順調である。 ・キク類、リンドウで、品種により発蕾、開花の前進がみられる。 ・アブラムシ類、アザミウマ類、リンドウホソハマキの発生がみられる。病害の発生は少ない。
須賀川	【コギク】4月中下旬から定植が始まり、7月中旬から収穫が始まる予定。（一部、3月定植の品種については現在出荷中）。定植降の高温により、開花はやや前進化の様子がみられる。 病虫害は、さび病やアブラムシ類・アザミウマ類等が発生しているほ場が見られる。
県南	【ダリア】定植は6月上旬に完了し、現時点での生育は概ね順調。一部の球根で発芽・生長の遅れが発生しており、前作の特に施設栽培における高温下での栽培、球根養成が影響したと考えられる。 【シクラメン】5寸の定植は6月中旬に完了、6寸の定植は現在進められており概ね例年並みの進捗である。

会津	【トルコギキョウ】半促成作型の出荷が行われており、平年並みの生育状況である。抑制作型の定植はほぼ終了である。病虫害の発生は少ない。
喜多方	【トルコギキョウ、リンドウ】高温多照により開花が平年より進んでいる。 【ユーカリ】生育は良好。ヨトウムシ、アブラムシ、アザミウマ類等の発生が目立つ。
会津坂下	【露地キク】小雨が続いたことから、例年よりも草丈が短く推移している。暖冬および4月以降の高温の影響により、アブラムシ類やアザミウマ類の発生が早まっている。
南会津	【リンドウ】早生品種、彼岸品種ともに生育は平年並。一部ほ場で葉枯病、黒斑病、オオタバコガ、アザミウマが見られる。用水は確保できており、十分に畝間かん水できる状態である。 【シュッコンカスミソウ】新植株の生育は、4月中旬定植株で100cm～110cmで順調である。一部ほ場でハスモンヨトウ等の食害が見られる。病害の発生は特にない。用水は確保できている。
相双	【コギク、トルコギキョウ】発蕾がやや前進傾向。オオタバコガの発生がやや多い。
双葉	・生育・開花ともに前進傾向にある。アザミウマ類の被害が多い傾向にあるとともに、土壌病害（トルコギキョウ立枯病など）も増加傾向。
いわき	【りんどう】水不足のため萎れ気味。生育は例年よりやや遅い。リンドウホソハマキ、ヨトウムシ類の発生が例年より多い。 【トルコギキョウ】 ヨトウムシ類、アザミウマ類の発生が例年より多く、オオタバコガの発生も昨年度より早い。 【シクラメン】 アザミウマ類の発生が例年より多い。

5 今年、夏季の高温が予想される中で、普及が現地で指導することや農家への周知方法について

農林事務所 普及部・所	内 容
<p>県北</p>	<p>【現地等での指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水稻 出穂期における追肥実施、登熟期間中の水管理 ・ 大豆 開花期における畦間かん水及び追肥実施 ・ 野菜 かん水、適期収穫、草勢維持(不良果の摘果、追肥・かん注の適期実施等)、遮光・遮熱資材の活用、害虫防除等 ・ 花き かん水、適期管理、草勢維持、害虫防除等 ・ 果樹 かん水、草刈り及び敷草のマルチ、適期収穫、樹勢維持、害虫防除等 <p>【周知方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A及び部主催の現地指導会、個別巡回、関係機関との担当者定例会議、J A発行防除情報等で夏季高温対策として上記指導内容等について周知する。
<p>伊達</p>	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導会やJ A営農指導員に対し、中干しやその後の水管理(間断かんがい)等の基本技術の徹底を行った上で、出穂期に高温が予想される場合には出穂期前に追肥と出穂後の飽水管理指導している。なお、J Aでは、普及所作成資料をHPに載せ、農家の皆さんへ情報提供を行っている。 <p>【野菜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導会等において従来の遮熱シート設置の他に、塗布剤や外気導入システムの活用を提案している。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主に指導会で、農家へ周知した。内容は、かん水の実施、モモで主枝の日焼け防止のため、摘芯で残す枝の部分を通常より長くするように指導した。
<p>安達</p>	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良区やJA 営農担当職員を通じた番水の徹底を必要に応じて実施する。 <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高温対策資料(畝間灌水や明渠への通水)を作成し農家への直接配布及びJA 営農指導員を通じて周知する。 <p>【野菜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ハウスのきゅうりやミニトマトでは、遮光幕や側窓の設置が行われ、近年は天窓の設置も進んでいる。今後、芯焼けが想定されるので、蒸散抑制剤やカルシウム等微量元素、カリ資材の葉面散布を指導している。 <p>【花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リンドウの高温対策として、一部のほ場で遮光幕を設置する。生育調査、採花期調査、切り花調査等を実施する予定。調査結果は管内生産者に情報共有する予定。

	<p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハダニ類の被害が懸念されるため、防除対策を JA と検討し、必要となり次第、JA を通じて防除対策を周知する。ブドウ苗木は 8 月まで灌水するよう周知。
県中	<p>【指導内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的指導（遮蔽資材等の展帳、かん水等） ・作業への指導（冷却ベストの着用、農作業を行う時間の調整等） <p>【周知方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術資料の配付（「こおりやまの米」通信、きゅうり通信、果樹技術情報、病虫害発生予察情報等）
田村	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・斑点米カメムシ類対策の徹底（畦畔管理、薬剤防除）、登熟期の飽水管理、早期落水の防止、適期刈取を中心に指導する。7 月下旬開催の現地指導会において生産者へ直接指導する他、技術情報（稲作情報）を管内稲作農家へ発行し、周知を図る。 <p>【野菜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・害虫の初期発生時の防除の徹底、病気の予防散布の徹底、ソーラー自動かん水や pF メーターを利用した安定的なかん水技術を中心に指導する。生産者圃場巡回時や、7 月下旬の現地指導会において生産者へ直接周知を図る。 <p>【花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病虫害防除の徹底と必要に応じたかん水と葉面散布等による株の消耗防止について指導する。生産者は場巡回や指導会にて周知を図る。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的なかん水の実施とカメムシ類の対策に関する防除情報の周知を図っていく。
須賀川	<p>【稲作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及所で定期的に発行している情報誌において、飽水管理について新たに記載し広く周知している。また巡回等でも指導を行っている。 <p>【畑作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回指導において、高温時のうね間かん水の有効性について周知を図っている。 <p>【野菜・花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温時の薬剤散布による薬害の発生防止。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水による干ばつ防止及び高温による害虫多発防止のための防除強化を指導している。干ばつ防止については、かん水基準とともに技術情報を発行済。防除強化資料はカメムシ類対策強化案を作成済。技術情報・防除強化資料ともに J A 各支店担当者経由で農家へ配布済。
県南	<p>【指導事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適正な追肥や水管理による登熟促進（水稻） ・少雨時の畦間かん水（大豆） ・少量多灌水による花落ち防止の推進（トマト） ・作型分化の推進（サヤインゲン）

	<ul style="list-style-type: none"> ・果樹カメムシ類の発生状況調査（果樹） <p>【周知方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地指導会、個別巡回による対策技術指導 ・町の広報誌、部 SNS 等による情報周知
会津	<ul style="list-style-type: none"> ・7月18日に、会津農林事務所主催で高温等に伴う会津地方農作物技術対策担当者会議（仮称）を開催し、今後重要となる技術対策や農家への周知方法について再確認を行う予定である。 ・JA各生産部会の指導会や目揃い会等において、高温対策技術の周知を図る。 ・水稻：管内市町・JAと銘柄米生産情報を編集し、全戸に配布する。 ・果樹：LINEを活用し、迅速な情報提供を行う。登録者は68名。
喜多方	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、JA等と協力し、ホームページでの掲載、技術情報資料の全戸配布により農家へ周知する。 ・現地指導会において、栽培技術対策＋熱中症対策（農作業安全）を指導する。
会津坂下	<p>【作物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲作情報会議を開催し、高温対策に関する情報共有を図るとともに、両沼地域のJA、商系、各土地改良区と連携して管内の注意喚起を行う。 <p>【野菜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重点支援対象者に対する巡回を行い、樹勢に応じた栽培管理の個別指導を行う。遮光、遮熱資材の設置時期について、栽培指導会で指導を行う。 <p>【花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・露地キクにおける積極的な畝間灌水について情報紙の発行、栽培指導会および個別巡回により指導する。栽培指導会で周知している遮光、遮熱資材の設置、目合いが広く風通しのよい防虫ネットへの転換について個別巡回による確認、現地指導を行う。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適期作業の実施や日焼け対策について、果樹情報の発行や巡回指導を行う。
南会津	<ul style="list-style-type: none"> ・水稻栽培指導資料への飽水管理、適期刈取の記載。 ・園芸作物では、十分な量のかん水の実施や排水対策、遮光資材による施設内温度抑制を指導する。 <p>上記については、技術情報の発行や、巡回指導、現地指導会などで周知する。</p>
相双	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAと連携して、JAの営農センター（市区町村）ごとに臨時の栽培指導会を開催し、高温時の栽培管理について指導している。 <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導会にて、大豆開花期以降における高温時の管理について指導した。虫害対策として、生産者に病虫害防除暦を配布した。

	<p>【野菜】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設野菜ではかん水、敷きわら、遮光、ミスト等を個別指導。 <p>【花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花き類の高温対策資料を作成し指導会や巡回で農家へ配布した。害虫の発消長に合わせた防除適期を指導した。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導会や個別巡回指導において、高温・乾燥時におけるかん水、新梢管理の方法や病害虫の発生状況、予察に基づいた適期防除などを指導。 <p>【全般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普及日より(7/1)にて水稻、畜産、果樹、野菜、花きの専門毎に注意を喚起。
双葉	<p>【作物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から今年度にかけて、移植時期の分散、複数品種の導入、地力維持、かけ流し・飽水管理等の水管理、葉色に応じた追肥の実施等について、地域生産者説明会や稲作部会で周知を図っている。 ・生産者からは、高温耐性に優れた新たな品種を望む声が多く挙がっている。 <p>【園芸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・換気、遮光、かん水の徹底を指導会・巡回等を用いて指導する。
いわき	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培情報誌(JA より生産者へ配布)により、水管理や追肥に関する情報を発行。 現地指導会や巡回指導においても、上記を重点的に指導している。 <p>【畑作物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高温の影響で生育が早まることが予測されるため、病害虫防除の時期について、各経営体を戸別巡回し指導する予定。 <p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巡回時に、遮熱剤の使用を提案。 <p>【花き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りんどう、トルコギキョウでは、遮光率 50%の遮光資材の導入を提案。 <p>【果樹】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かん水の実施、徒長枝等不要な枝のせん除、適期収穫や、ハダニ類、カメムシ類等の防除の徹底について、指導会等で周知する。